

# 1 ソフトウェア業

## (1) 概況

福岡県の平成18年におけるソフトウェア業を営む事業所数は561事業所、従業者数は19,531人、年間売上高は2,763億800万円となりました。

**表 1 ソフトウェア業の事業所数、従業者数、年間売上高**  
(単位:人、百万円)

区 分	平成18年
事業所数	561
従業者数	19,531
年間売上高	276,308
1事業所当たり 従業者1人当たり	493 17

**表 2 ソフトウェア業の単独事業所、本社、支社別事業所数**

区 分	平成18年	
		構成比(%)
計	561	100.0
単独事業所	254	45.3
本 社	99	17.6
支 社	208	37.1

**表 3 ソフトウェア業の経営組織別・資本金規模別事業所数**

区 分	平成18年	
		構成比(%)
計	561	100.0
会社	552	98.4
500万円未満	59	10.5
500万円以上1千万未満	10	1.8
1千万円以上5千万未満	293	52.2
5千万以上1億円未満	62	11.1
1億円以上10億円未満	92	16.4
10億円以上	36	6.4
資本金なし	9	1.6
会社以外の法人・団体	2	0.4
個人経営	7	1.2

## (2) 事業所数

### 【従業員規模別】

事業所数を従業員規模別にみると、「10～29人」規模が211事業所(構成比37.6%)、次いで「1～4人」規模が95事業所(同16.9%)、「5～9人」規模が92事業所(同16.4%)と、従業員29人以下の事業所が、全体の7割を占めています。

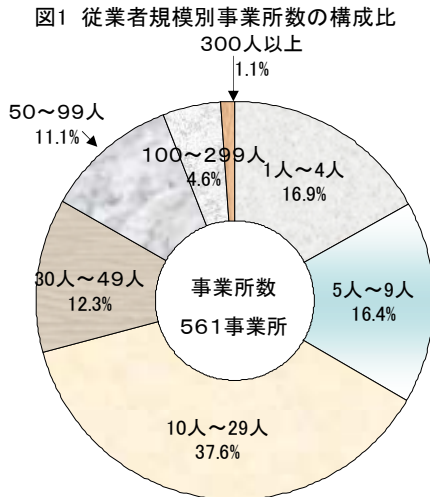


表 4 ソフトウェア業の従業員規模別事業所数

区 分		平成18年	構成比(%)
計		561	100.0
従業員規模別	1 ～ 4 人	95	16.9
	5 ～ 9 人	92	16.4
	1 0 ～ 2 9 人	211	37.6
	3 0 ～ 4 9 人	69	12.3
	5 0 ～ 9 9 人	62	11.1
	1 0 0 ～ 2 9 9 人	26	4.6
	3 0 0 人 以 上	6	1.1

## (3) 従業員数

### 【男女別】

従業員数を男女別にみると、「男」が1万5,905人(構成比81.4%)、「女」が3,626人(同18.6%)となりました。

図2 男女別従業員数の構成比

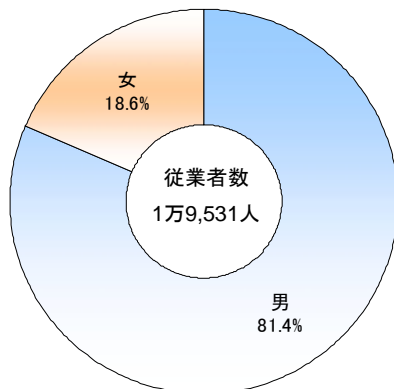


表 5 ソフトウェア業の男女別従業員数

区 分		平成18年	構成比
		(人)	(%)
計		19,531	100.0
男女別	男	15,905	81.4
	女	3,626	18.6
	うち、別経営の事業所に派遣している人	1,187	6.1
	男	1,005	5.1
	女	182	0.9
別経営の事業所から派遣されている人		1,690	100.0
	男	1,139	67.4
	女	551	32.6

### 【雇用形態別】

従業者数を雇用形態別にみると、常用雇用者が1万8,396人(構成比94.2%)と全体の9割半を占め、内訳は「正社員、正職員」が1万7,655人(同90.4%)、「パート・アルバイト等」が741人(同3.8%)となっています。

また、別経営の事業所から派遣されている人が、1,690人で、従業者数計に対し、8.7%の割合(外数)になっています。

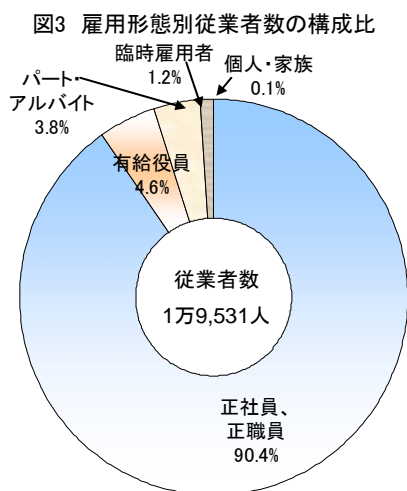


表 6 ソフトウェア業の雇用形態別従業者数

区 分	平成18年	
	(人)	(%)
計	19,531	100.0
個人業主(個人経営の事業主)、無給家族従業者	10	0.1
有給役員	897	4.6
常用雇用者	18,396	94.2
正社員、正職員	17,655	90.4
パート・アルバイト等	741	3.8
臨時雇用者	228	1.2
うち、別経営の事業所に派遣している人	1,187	6.1

別経営の事業所から派遣されている人	1,690
対従業者比率(%)	8.7

### 【部門別】

従事者数を部門別にみると、構成比の最も大きな「システムエンジニア」が9,100人(構成比48.1%)と全体の5割を占め、次いで「プログラマ」が5,006人(同26.4%)となりました。

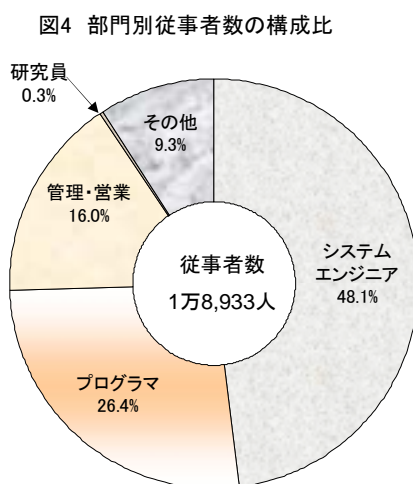


表 7 ソフトウェア業の部門別従事者数

区 分	平成18年	
	(人)	(%)
計	18,933	100.0
管理・営業	3,024	16.0
システムエンジニア	9,100	48.1
プログラマ	5,006	26.4
研究員	48	0.3
その他	1,755	9.3

#### (4) 年間売上高

平成18年の年間売上高は2,763億800万円となりました。

##### 【業務種類別】

年間売上高を業務種類別にみると、「受注ソフトウェア開発」が2,460億4,000万円(構成比89.0%)と全体の9割を占めています。

図5 業務種類別年間売上高の構成比

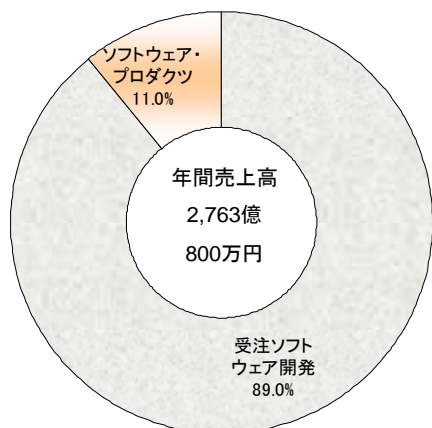


表 8 ソフトウェア業の業務種類別年間売上高

区 分	平成18年	
	(百万円)	(%)
計	276,308	100.0
受注ソフトウェア開発	246,040	89.0
ソフトウェア・プロダクツ	30,268	11.0
業務用パッケージ	22,255	8.1
ゲームソフト	3,328	1.2
コンピュータ等基本ソフト	4,685	1.7

##### 【契約先産業別】

年間売上高を契約先産業別にみると、「同業者」が999億7100万円(構成比36.2%)と全体の3割超を占めています。

表 9 ソフトウェア業の契約先産業別年間売上高

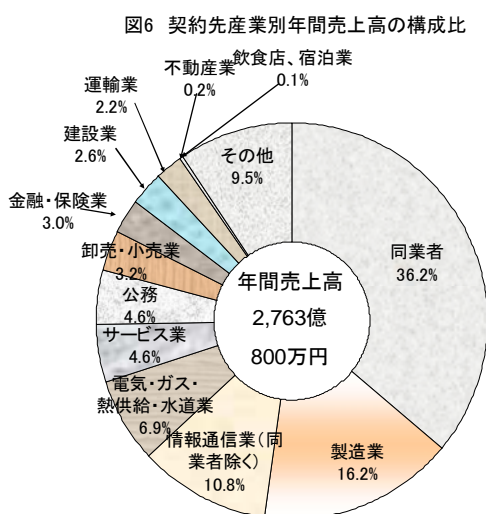


図6 契約先産業別年間売上高の構成比

区 分	平成18年	
	(百万円)	(%)
計	276,308	100.0
建設業	7,266	2.6
製造業	44,642	16.2
電気・ガス・熱供給・水道業	19,018	6.9
情報通信業(同業者を除く)	29,883	10.8
運輸業	6,079	2.2
卸売・小売業	8,865	3.2
金融・保険業	8,170	3.0
不動産業	500	0.2
飲食店・宿泊業	343	0.1
サービス業	12,823	4.6
公務	12,599	4.6
同業者	99,971	36.2
その他	26,149	9.5

(5) 都道府県別の状況

事業所数を都道府県別にみると、東京都が3,659事業所とほぼ全体の3分の1を占めています。次いで、大阪、愛知、神奈川、福岡県561事業所で、この上位5県で全国の6割強を占めています。

従事者数を都道府県別にみると、東京都が25万801人とほぼ半数を占め、次いで神奈川、大阪、愛知、福岡1万8,933人で、この上位5県で全国の4分の3強を占めています。

年間売上高を都道府県別にみると東京都が6兆1,911億円と6割弱を占めています。次いで、神奈川、大阪、愛知、福岡2,763億円となっていて、この上位5県で全国の8割強を占めています。

また、ソフトウェア業務の1事業所当たり年間売上高を都道府県別にみると、神奈川県が最も高く次いで東京、千葉の順になっていて、関東南部の都県で10億円を超え、際だって高くなっています。この上位3県のみが全国の1事業所当たり年間売上高(9億7,099万円)を上回っています。

図7 事業所数の構成比

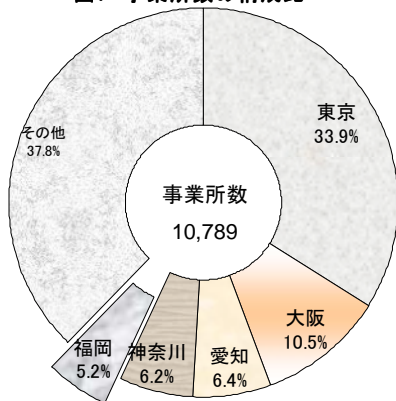


図8 従事者数の構成比

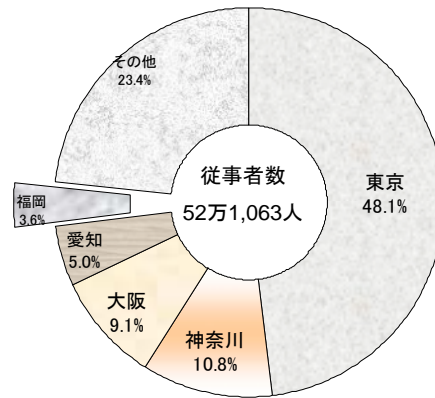


図9 年間売上高の構成比

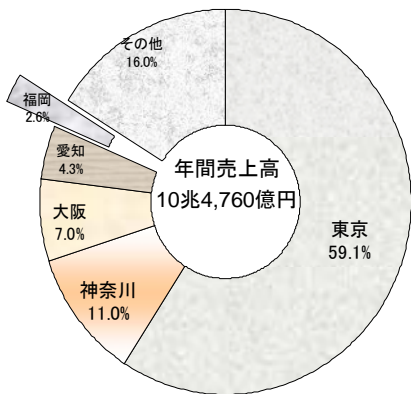


表10 都道府県別の状況(上位5都道府県)

順位	事業所数	従事者数(人)	年間売上高(百万円)	1事業所当たり年間売上高(万円)
	全国計 10,789 (100.0%)	全国計 521,063 (100.0%)	全国計 10,476,004 (100.0%)	全国平均 97,099
1	東京 3,659 (33.9%)	東京 250,801 (48.1%)	東京 6,191,144 (59.1%)	神奈川 171,210
2	大阪 1,133 (10.5%)	神奈川 56,150 (10.8%)	神奈川 1,150,534 (11.0%)	東京 169,203
3	愛知 687 (6.4%)	大阪 47,195 (9.1%)	大阪 732,241 (7.0%)	千葉 105,830
4	神奈川 672 (6.2%)	愛知 25,887 (5.0%)	愛知 446,667 (4.3%)	愛知 65,017
5	福岡 561 (5.2%)	福岡 18,933 (3.6%)	福岡 276,308 (2.6%)	大阪 64,628
				12位 福岡 49,253

※( )内の数値は、構成比を示しています。